

令和2年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	長崎大学	タイプ	A②
事 業 名	プラネタリーヘルスの実現に向けた日ア戦略的共同教育プログラム		
海外の相手大学	ケニア中央医学研究所、マセノ大学、ケニヤッタ大学、ジョモケニヤッタ農工大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、アフリカ諸国との交流に長年の実績を持つ貴学が、その実績に基づき構築された大学間ネットワークを活用して、地球規模の課題解決に向けた協働活動を指導的な立場から展開できる人材育成を目指しており、全学的に標榜された「プラネタリーヘルス」という概念の下で、国際的に実績のある熱帯医学・グローバルヘルス研究科を中心に、地球規模の健康を考えた全学的プログラムを展開することによって、優れたアウトカムが期待できる内容となっている。また、学内の医学系学部・研究科が先導して交流プログラムを構築しながら、特定の専門家の育成にのみならず、他大学の学生で、本プログラムに興味を抱く学生の参加が可能となっており、幅広く参加学生を取り込む仕組みが構築されている。産学連携に関しては、長崎県内の企業との連携が強化されており、産業界からの支援をはじめ、学術性の高いものから実務性の高いものまで、多様なグローバル人材育成の展開が期待できる。

学生の派遣・受入に関しては、留学生の安全管理はもとより、現在不確定要素の多い新型コロナウイルス感染症への対策に関しても具体的なオンライン活用を提示するなど、十分検討されている。また、海外渡航に不慣れな学部生にはオンラインによる導入プログラムと派遣・受入双方の短期研修、大学院生には長期の実務研修が計画されており、オンライン交流と実技がバランスよく配置されているだけでなく、それぞれが単位化された教育システムとなっているため、体系的かつ質の高いグローバル教育の実施が期待できる。

一方で、これまでと同様のケニアの高等教育機関を対象とした交流プログラムに留まることなく、ネットワーク拡大に向けた活動と、教養課程から専門課程に至る過程にダブル・ディグリーやジョイント・ディグリーを設置することについて検討が望まれる。また、プラネタリーヘルスはSDGsと同様、包括的概念であることから、概念の教示だけでなく、教育内容への具体化とプログラムの質の維持・向上に十分に留意することが求められる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国・地域との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。